

1988

11

No.376

広報

入善町

いい秋,きいき号

NYUZEN TOWN

●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課



■町のイメージアップ作戦

PART.7 獅子舞

昭和51年に町の無形文化財として指定を受けた新屋地区の獅子舞。昭和54年からは地元出身者の多い北海道妹背牛町と獅子舞交流を行っています。今年の6月には上田地区と北海道初山別村との交流も始まりました。300年の伝統を誇るこの踊り。子どもたちにもしっかり引き継いでいってほしいものですね。

▶今年の作況指数は97と例年より不作



アンケート結果から

おいしい米作り、その課題と展望

今年是天候に恵まれず、お米の出来具合も例年より悪かったようです。最近の農業事情を考えるとこれからの米作りはますます厳しい状況になってきています。町では「年々減少する米の消費に歯止めをかけよう」と、生産者や消費者のみなさんの意識調査を行いました。

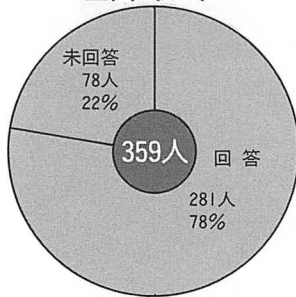
今月はアンケート調査の結果を紹介し、これからの米作りに何が大切なのかをレポートしてみます。

迫られる農業経営の見直し——生産者
 食べるなら地元の安い米を——消費者

■回答者の年代別



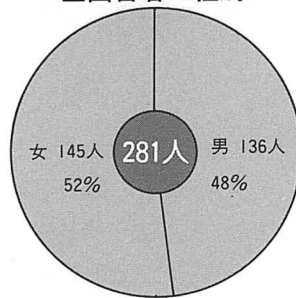
■回収率



■回答者の生産者、消費者別



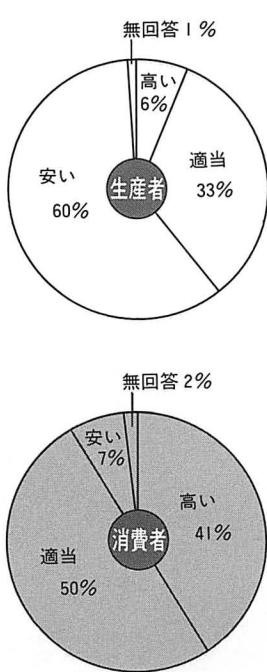
■回答者の性別



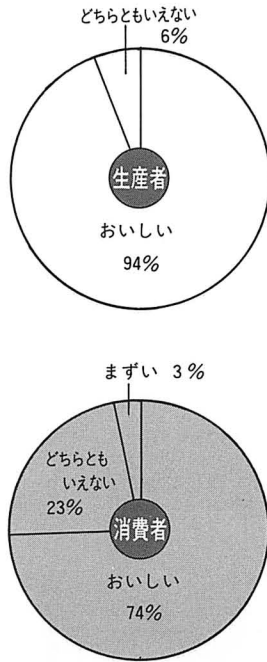
アンケートに協力していただいた人は住民マスターから無作為抽出しました

分かるかな？ 入善弁 お年寄りには懐しく、若い人は首をひねるかもしれない入善弁。さて、今月はどんな「ことば」が登場するやら…。

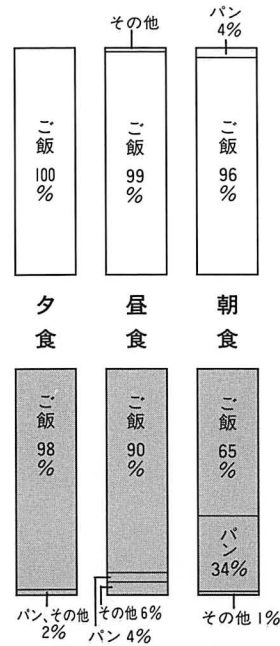
(3) 広報にゆうぜん



③ 米の値段についてどう思いますか。



② 毎日食べている米をどう思いますか。



① 食事の主食は何ですか。

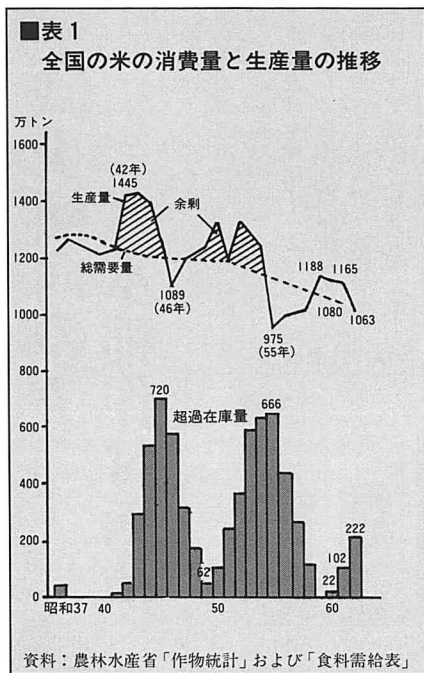


果して安いのか高いのか おいしいとっています やっぱり「ご飯が主流」

生産者と消費者の意識格差が現れたのがこの質問。「米の値段は安い」と生産者の6割が答えたのに対し、消費者では「高い」と答えた人が4割にものぼりました。米の値段はキロ当たり約400～600円。みなさんどう思われますか。

ほとんどの生産者が「おいしい」と答えています。一方、消費者では4人に1人が「おいしいとはいえない」と答えています。消費者は産地米を選ぶことができないため、このような結果が出たものと考えられます。

主食は「ご飯」と答えた人が圧倒的に多かったようです。しかし、朝食については生産者のほとんどが「ご飯」と答えているのに対し、消費者のうち3人に1人が「パン」と答えており、パン型の家庭が増えてきているようです。



町では「米に関するアンケート」と題して、生産者と消費者の意識調査を9月に実施しました。その結果を3・4・5ページで紹介します。

米の消費量と生産量の推移を表わしたのが表1です。米の消費が年々減少したため、在庫米が増え、米の生産量を縮小せざるを得ない状況に追い込まれています。米消費量が減少している理由に挙げられるのが食生活の多様化。昔から日本の主食は「米」と決まっていますが、乳製品や肉類の普及により欧米型の食生活に変化してきたものと考えられます。

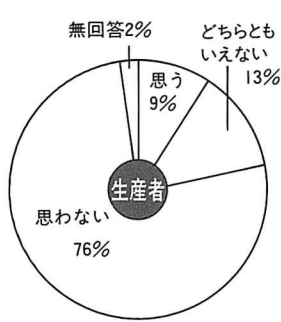
米は日本人の主食として、古くから大切にされてきました。また、米作りは入善町の基幹産業の一つとして重要な役割を果しています。

ところが、米の消費は昭和37年をピークに年々減少し、現在では国民一人当たり年間73*までに落ち込んでいます。米余りの現象は日本の農業に対して大きな変化をもたらしてきていることも事実です。

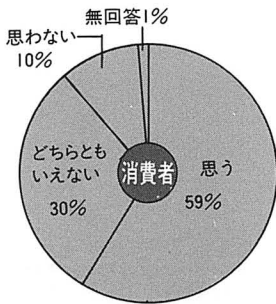
ますます減少する
米の消費量

ジにわたって紹介してみました。アンケートに協力していただいた人は281人。男性と女性、生産者と消費者の割合も半々になっています。

●だりじゃ……誰だの意。「だる」ともいう。「だり」「だる」「だれ」とう行が乱脈を極め、だれがだれか分からなくなっている。「だりじゃ、こいこと言うたもんな」。

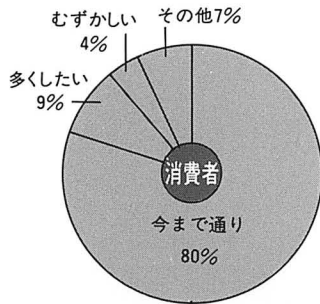
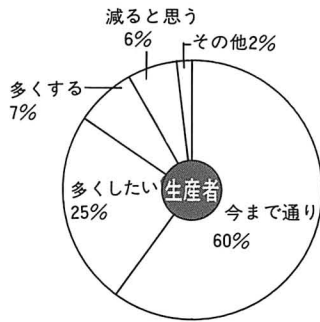


6 2年続きで米価が下がりました。よい傾向だと思えますか。



意識格差が浮き彫りに

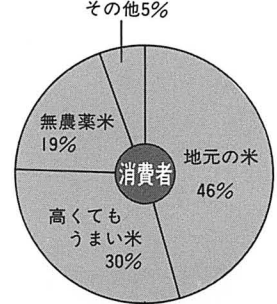
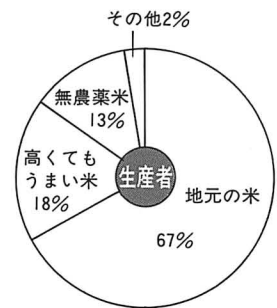
質問3と同様、生産者と消費者の意識格差が非常に現われました。生産者とすれば米価が上がった方がよいし、消費者とすれば下がったことに越したことがないという考え方です。双方の考え方の相違が率直に出たようです。



割と消極的な意見

生産者のうち4人に1人が米の使用を「多くしたい」と答えただけで、ほとんどの人が「今まで通り」と答えています。積極的に米を取り入れていくといった傾向が見られないため、消費拡大を進める上での一番のネックと言えます。

5 これからの食生活に米の使用を多くしたいと思えますか。



地元の米が食べたい

生産者、消費者ともに「地元の米を食べたい」と答えた人が多く、グルメブームを反映してか「高くてもうまい米なら」と答える人も消費者で目立ちました。健康面からか無農薬米を食べたいと答える人も多くなってきています。

4 あなたが今後食べたい米はどんな米ですか。

表2. 転作目標面積

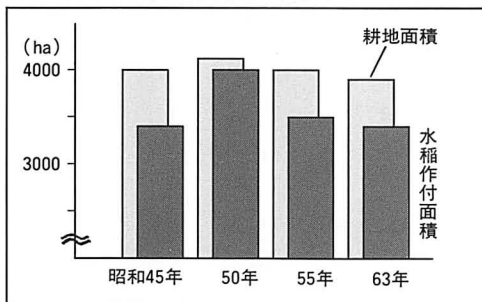
年度	入善町 (ha)
60年度	591.6
61年度	619.9
62年度	846.5
63年度	887.5%

(単位: ha)

前のページでも述べたように過剰米が増えたため、政府は昭和44年から需給のバランスをとろうと転作を奨励するようになり、転作目標面積を各県に割り当て、10a当り減産奨励補助金を交付する制度です(昭和53年から始まった水田利用再編対策や62年度から始まった水田農業確立対策など)。この制度は、県内一の米どころを誇る入善町にも大きな影響を与えました。水稲の10a当りの収量は500kg台で昭和45年から富山県のトップの座を占めており、品質や栽培技術も非常に高いものがあります。入善町の転作目標面積は年々増える傾向にあります(表2)。これに伴って水稲作付面積も減少してきています(表3)。昭和50

減少傾向の水稲作付面積

表3. 町の耕地面積と水稲作付面積

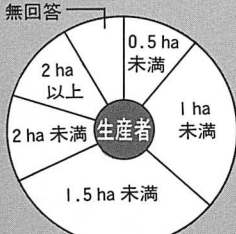


年には約4000haもあったのが、昭和63年には何と3000haに減っています。大豆や麦を転作物として栽培していますが、湿害や雪害による影響でそれほど収量がありません(50代・男性)。「米を作ったほうがもうかるんですが……。米が作れる田をわざわざ減反して米を作られないようにするんですから、とても矛盾を感じます」(40代・女性)。「米の自由化は遅かれ早かれ確実にやってくると思います。」

生産者の意識は…

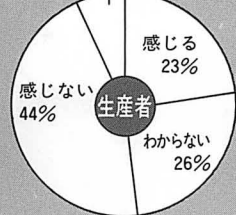
このコーナーでは、生産者の米作りに対する意識を調査してみました。みなさんはどう思われますか。

■経営面積は…



■農業(米作り)に魅力を感じますか

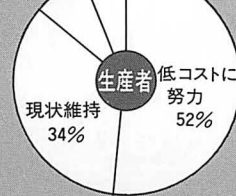
無回答7%



■今後の米作りについて

無回答6%

経営縮小8%



■低コスト生産の方法は…

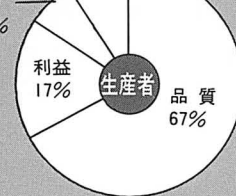
- 機械を長持ちさせる……14%
- 機械作業の委託推進…… 8%
- 機械の協同利用……7%
- 農地の規模拡大で対応…… 6%
- 集落ぐるみの農業……6%

無回答が50%と多く、生産者も低コストの方法をつかみきれないようです。

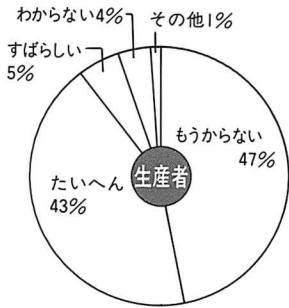
■これからの米作りのポイントは…

その他9%

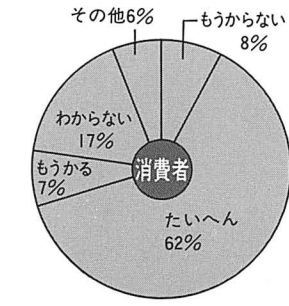
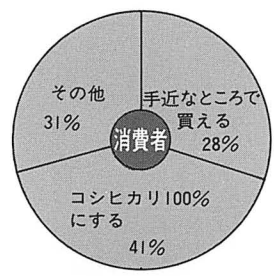
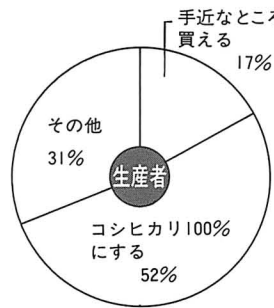
安全 7%



7 農業(米作り)についてどう感じていますか。



8 米の消費拡大を図るためには、どんな方法がありますか。



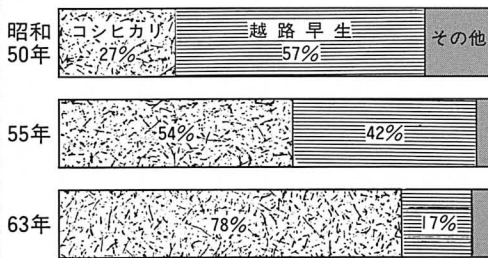
コシヒカリをPR

生産者、消費者ともに「コシヒカリ100%の米にすれば、消費拡大を図ることができる」と答えた人が多く、「食管制度の改善を図る」とか「気軽に食べられる米製品を作る」「入善米のPRをする」といった意見もありました。

魅力の少ない農業

生産者は「もうからない」「たいへん」と答えた人が9割もいて、あまり農業に生きがいを感じていないように見受けられます。消費者も「たいへん」と答えた人が多く、農業に対して魅力を感じている人は少ないようです。

■表4 水稲品種別作付面積の割合



アメリカの米が市場に入ってくるで大変なことになる。米だけでなくほかの農作物に与える影響もかなり大きくなるのでは(30代・男性) 農業に従事している人たちの意見も厳しいものがあるようです。

表4は水稲品種別作付面積の割合を示したものです。昭和50年には越路早生が約6割を占めていたのに、最近ではコシヒカリの占める割合が増え、今年なんと約8割近くにものぼりました。コシヒカリは全国的にもおいしい米として有名です。今回のアンケートでも、生産者、消費者ともに「地元のを食べたい」「コシヒカリ米をPRする」といった意見がたくさん出てきました。米価の引き下げ、減反につぐ減反、農産物の輸入攻勢と今後の米作りは決して楽観することはできません。次のページでは「足腰の強い米作り」をするためには、どんな方法があるのか取材してみました。

前のページのアンケート結果をみなさんはどう受け止められましたか。いずれにしても農業問題は楽観することができないようです。このページでは「これからの米作り」に何が必要なかを紹介してみます。

激変する農業情勢

これからの展望は…

値下げの

続く米価

転作面積の拡大、予測される米価の切り下げ、米の自由化の圧力など米作りに対する内、外圧の強化はますます厳しいものがあります。

最近の農政事情を取り上げてみるだけでも明らかです。

- ・昭和61年 農政審議会 近い将来、生産費を50%下げの目標を試算
- ・昭和62年7月 米価5・95%引き下げ決定
- ・昭和62年12月21日 米需給均衡化緊急対策に伴う予約限度数量マイナス26万トン
- ・昭和62年12月28日 良質米奨励金平均10・7%引き下げ決定
- ・昭和63年1月 富山県・富山県農協中央会が予約限度数量マイナス6160トンを県内市町村、農協に配分
- ・昭和63年6月 日米農産物協定交渉で牛肉・オレンジ3年後自由化決定
- ・昭和63年6月 経済同友会 5年後に米価50%値下げを目標にせよ
- ・昭和63年6月 大蔵省 近い将来、米価30%値下げの必要がある
- ・昭和63年7月 米価4・6%値下げ決定



入善農業改良普及所長
稲場 祐二さん

低コスト生産基盤は全国一

大蔵省は近い将来30%程度の米価値下げを行いたいとはつきり言っています。米価は確実に下がるはずだし、米の自由化も避けられないと思います。「まだ何とかかなるのじゃないか」と考

えている農家の人が多いのではないのでしょうか。今後の米作りのポイントは、なんとと言ってもコストの低下を図ること。全国的に見てもコンバインやトラクターの普及率はトップクラスです。ところが、一年に数えるほどしか使用しない機械に多額のお金をかけているのが現状です。最少限の機械で作業をし、機械経費を下げなければ、今後の社会・経済情勢の変化に対応できないと思います。

消費者ニーズに答える米を

米田さんの耕作面積は約5ha。水稲とチューリップ栽培が主体で、減反と米価値下げのために農作業の合理化を図って対応しています。

「やっぱり米作りが中心です。昭和52年から乾燥調整施設を作り、農作業の受託を引き受けています。現在トラクター3台、コンバイン1台、乾燥機3台、田植え機1台を持っています。田植え機1台を上げて機械のコストを下げるのが課題だと思います」

と話す竹男さん。妻の喜代美さんは魚津市出身で農業を始めたのは結婚してから。「米作りの面白さは、子どもを育てると同じで、手をかけてやればかけただけのものが戻ってくる。収穫のときが一番うれしいです。消費者のみなさんに喜んでもらえるような品質の高い米を作るように努力しています」とこやかに話します。



中核農家
米田竹男さん・喜代美さん(横山)

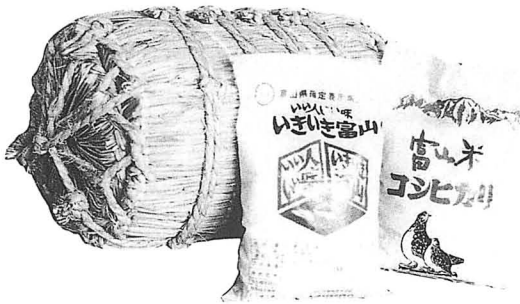
●なまる……入善で生れたくせに、東京弁でしゃべること。こんな人は話しにくくて仕方がない。ぜひ入善弁を勉強して欲しい。

個別農業から 地域農業へ

入善農業改良普及所や農協、町当局では、今までの農業構造体質を変えるため「低コスト農業の実現」に向けて次のようなことに取り組んでいます。

▼コスト低下を図るための積極的な対策には、農業機械・施設を効率的に利用していかなければなりません。そのためには、生産組合長を中心にして集落の農業の実態を把握し、5年後、10年後の農業がどうなるのかを論議して推測を立てることが必要です。

取り組みの方法としては：



▲全国のファンが多いコシヒカリ米。

①集落における農業機械・施設の共同利用を進める。(機械の

能率を単位とした5〜10戸程度の共同作業組を作る。施設は規模・能力を基に数10組単位で利用する)

②機械作業の受委託を進め、農業機械の経済性を高める。(集

落)に受託組合を設置し、作業受委託を進める)

③農用地利用増進事業などを活用し、中核的な担い手農家の

規模拡大を図る。などがあげられています。

6ページにわたって特集した「これからの米作り」。みなさんどう受けとめられたでしょうか。入善町の基幹産業でもある米作りは、今までの個別型から地域型へ変わらざるをえないようです。

集落営農を実現するためには、受託者、委託者の双方が将来にわたって有利になることが条件です。そのためには腹を割った話し合いを続けていくことも大切です。

幸い入善米の評価は高く、取引量も全国ではトップクラスを誇っています。これから農家のみなさんがどれだけ本気になって「低コスト農業」に取り組んでいくか、これにかかってくるような気がします。

作年の11月に入善町の一地区で国民栄養調査を行ったところ、主食が少なく、おかずの多い食生活パターンが見受けられました。

中でも、米の摂取量が比較的に少なく、魚・肉類などの動物性

栄養バランスがよいお米

タンパク質を多く摂取している傾向が、うかがえました。食塩も一人平均14・5gと一日の目標とされている「10g以下」よりも多く摂取されていました。

富山県は全国的に見て脳卒中や胃がんの死亡率が高いことは

おいしい入善米コシヒカリと水をテーマにして地域を活性化させようと張り切っているのが商工会婦人部のみなさんです。

「最近の若い人たちはお米を食べなくなりました。いろんな会合で米消費拡大を図るために



入善町商工会

婦人部 事務担当
竹内文子さん 竹内稔子さん 船平隆子さん



黒部保健所栄養士
前多律子さん

の穀類を中心にし、食物繊維の多い野菜を多くとり、動物性脂肪の摂取を控えることによって、栄養素のバランスをよくして成人病の予防を図ろうとしているのです。

米は約75%の糖質と7%のタンパク質が主成分で、他にビタミン・ミネラルなどの微量成分が含まれ、消化吸収率も優れています。

「ご存知だと思います。成人病を防ぐには、食塩の摂取を控え、栄養のバランスのとれた食事をするのが大切です。心臓病や糖尿病などの成人病の多い欧米では、日本型食生活が見直され始めました。米など

は、どんなことをすればよいのか話し合い、米に関するアンケートを実施してみたいです。」

「アンケートの結果、喜ばれる米料理にはお寿司や炊き込みご飯が掲げられました。そこで11月に開かれるふれあい事業川まつりに「鮭ちらし寿司」を作ってみようと思いついたんですよ。」

「お米と水は黒部川扇状地で生きてきた先祖代々の大切な贈り物。イベントを開催するときには町内外の人たちにPRすることもできるので一石二鳥にな

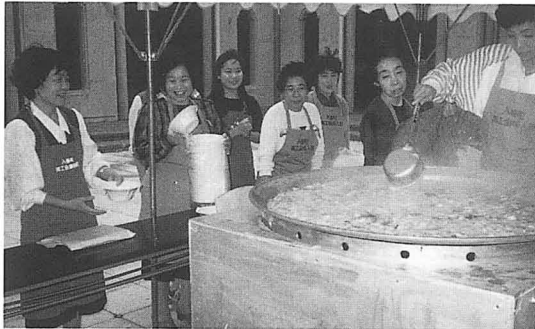
お米料理で消費拡大を

●ひとかたけ……一食分のこと。新米を友人にもらった。水を少し多めにして、ひとかたけ頂戴した。まっ白で香りも良く、日本一のコシヒカリと水キラキラ入善。

——まず自己紹介してください。
 山口 福岡県の久留米市出身です。人口は福岡市、北九州市に次いで3番目。プリジストン社の発祥地としても有名で、商業と工業の町です。市内を築後川が流れていて、10年前からは水をテーマにした夏祭りも行われるようになって随分にごやかです。交通の便もいい所だと思います。

そとから見たにゅうぜん

吉田工業株にお勤めの山口敏彦さん(雇用促進住宅・31歳)は富山県にこられて11年目。「もう少し交通の便が良くなればいいと思います」と話します。



ジャンボ鍋にビックリ

川まつりが開かれます

第1回入善ふれあい川まつりが11月12、13日に黒部川河川敷で開かれます。当日使用されるジャンボ鍋の試食会が、10月12日町民会館で行われました。鮭と野菜がたっぷり入った鍋料理に関係者も大喜び。川まつりの当日券(1綴 1,000円)も販売中です。みなさんぜひ川まつりにお越しください。

初めてのお祭りだい

飯野北部地区の子どもみこし

「長年の夢がかなってとてもうれしい」と話すみなさん。秋晴れの10月15日、飯野北部地区で初の子どもみこしが披露されました。宝くじの助成を受けたみこしは高さ2mの立派なもの。境内で津軽じょんがら節を踊った後、小学生25人がみこしを引っぱり飯野、高瀬、園家、報徳地区を練り歩きました。



老朽化の進んでいた入善自動車学校の新築工事が終わり、10月18日に落成式が行われました。2階建ての白い校舎で冷暖房も完備され、ビデオシステムも導入されています。当校の卒業生は2万人を越えたとのこと。最近交通事故が多発していますが、初心に戻って交通安全に努めてください。

入善自動車学校 新校舎完成

交通安全忘れずに

カメラ・トビックスカメラ・トビックス

新青	舟膳	入膳	道膳	入膳	舟膳	小膳	青膳	桐膳	舟膳	吉膳	吉膳	上膳	桐膳	入膳	上膳	上新	藤膳	吉膳	中膳	高膳	高膳	神膳	桐膳	福膳	桐膳	舟膳	入膳	上膳							
屋木	見区	野区	古区	見区	山杉	木山	見山	原山	原山	野山	野山	市野	野野	野野	野野	屋野	原野	原野	沢野	島野	島野	子	山山	島山	山山	見山	野野								
岡本	大沼	小森	扇谷	森谷	神子	北條	嶋田	舟見	舟見	松田	廣野	眞岩	西島	七澤	柏原	櫻井	安達	廣清	大田	松島	目澤	若狭	吉原	柳平	橋場	清水	清水	荒田	本村	福澤	下杉	小森	越間	小川	
論	義夫	秀成	知成	靖則	久重	憲章	義高	仁志	学志	学志	学志	龍造	博幸	政彦	敏治	敏博	喜代志	哲夫	尚志	榮藏	榮彦	裕彦	圭司	明司	明優	清和	清和	良広	忠久	淳一	教弘	浩一	晋		
三女	長女	二女	二男	長男	長男	二女	長男	長女	長女	長女	長女	二女	長女	長女	四女	長女	長女	二女	長男	長男	長男	長男	二女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長男	二男	長男	長男	長女	統柄
美秋	里奈	麻史	隼史	慧典	久典	竜也	優奈	洋祐	雄一	千一	龍之介	い之介	栄和	政志	福彩	依里	悠樹	龍介	竜士	めみ	大我	美樹	貴明	愛夏	圭郎	はるか	秀昭	聖也	崇道	直也	名品				

あかちゃん
 (敬称略)



☼すべふとん……肩葉のふとん。朝夕めつきり寒くなる。昔は、葉のふとんで寝たそう。秋から冬へと季節の変わり目風邪など引かぬよう。

ふるさとの歴史

冷水害を克服した 流水客土

No.21



黒部川扇状地は砂質浅耕土で、その用水源黒部川は全国希にみる冷水温(愛本・8月13.5℃)であり、田の用水滲透が甚だしく、また加えて土壌中の鉄分不足が「秋落ち現象」をもたらした県下最低の低位生産地域(28年・10a当り258kg)でありました。

この悪条件を改良するため、昭和26年から10か年にわたり、明日採土地の粘質赤土を射水力及びブルドーザー作業によって掘さく濁水化し、これを微粒化プラントに流し様に選別微粒化したものを更に適量の水を加えて新しく仮設した専用連絡水路に流し、在来の各用水系統に連絡し、それぞれの水路を通じて直接に或は地形によってサンドポンプ、バーチカルポンプにより揚水して、全耕地に反当15~35m²の割りで流送灌がいを行いました。当時木樁架設による流送風景が方々で見られました。

この歴史に残る世界に例をみない画期的な流水客土施行後は、冷水害が半減され、増収の方向をたどり、また農業技術の向上、化学肥料の開発とあいまって画期的な収益をもたらしました。昭和38年から圃場整備が行われ、県下最高の収穫高(62年・546kg)をあげるにいたり、昔の水口田の現象は全く姿を消し、今では搬入客土をする風景が見られます。

入善町史編纂専門委員
黒部川扇状地地域社会研究所
所長代理 吉 島 敬 重

——富山県の印象は？
山口 富山県のイメージというとか売薬さんと黒四ダムぐらいしか知りませんでした。初めて来たときは、思っていたよりも発展しているの少し安心しました。海と山が近くにあつて静かで住みやすい所ですね。とにかく富山県の人たちはよく働くので感心しています。
——これからの抱負を。
山口 30代に突入しましたが、いつまでも若い気持ち忘れないうで仕事や遊びにチャレンジしたいと思っています。テニスとスキーで体を動かすようにしています。
町に望むことですか？やっぱり入善駅前開発でしょう。8号線から駅前へぬける中央通り線を早く整備して町の名物道路にしてほしいですね。

かめらとびつゝすカメラ・フジフンスかめらとびつゝす

早くボールを持ってきて 第20回町民体育大会



秋晴れの10月16日、町民体育大会が運動公園で開かれました。2年に1度のイベントとあつて選手や応援する人たちも大変な張り切りよう。ゴールハイ、でたとこ勝負、順送球などで日ごろの練習の成果を発揮していました。

優勝は舟見地区、2位は上原地区、3位は小摺戸地区の順。この結果、すでに競技の終わった球技の部の得点を合計すると総合優勝は入善地区、2位は舟見地区、3位が上原地区という順位になりました。選手のみなさんご苦労様でした。

住所	氏名	年齢	世帯主
新屋	小堀政雄	71	本人
下山	杉田信作	78	本人
中山	稲村榮吉	77	本人
中沢	金山静子	63	本人
古黒	中村即宣	51	本人
東江	廣川マツイ	84	本人
舟見	大井香奈	26	本人
舟見	西尾三郎	86	本人
小摺戸	菊地スヤ	80	本人
入膳(里五)	上野よし	87	本人
入膳(里五)	杉本いと	89	本人
東	米澤あや	89	本人
高膳(寺東)	中坪忠義	65	本人
高膳(寺東)	竹本イト	87	本人
入膳(寺東)	吉田よし子	43	本人

(10月15日受付分まで)

舟道
見古
富山利也
二男
英楓樹

おくやみ
(敬称略)

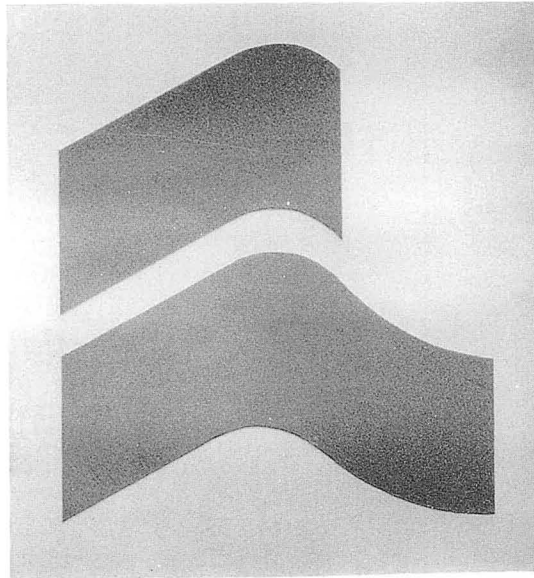
●うしようしよ……今年是天候が悪く、山の木の実が不作だった。民家近くまで熊が「うしようしよ」出て来た。うしろめたい様子でうろつくこと。熊さんかわいそう。

♡イメージアップマーク



■三池 律子さん
(富山市・会社員)

入善町の頭文字の「入」に、豊かな流れる水のイメージを取り入れて「水のまち・入善」を表現してみました。上の部分が薄緑色、下の部分が水色で「緑と水」を連想させます。



マークと標語が決まりました

三池さんと伊藤さんの作品が最優秀賞に

入善町を県内外にPRするためのイメージアップマークとキャッチフレーズが決まりました。観光パンフレットや特産物などに貼り付けてPRしていく予定です。応募されたみなさんありがとうございました。

応募総数は

266点

町では、観光や物産などを通して入善の名を県内外にPRするため、8月から「水」をテーマにしたマークとキャッチフレーズを募集していました。

9月末の締切日までにマークは49点、標語は217点の応募がありました。小学生はもとより親子やお年寄りのかたなどの作品も多く、ユニークな作品が目を引きました。10月12日に行われた審査会で、イメージアップマークには三池律子さんの作品が、また、キャッチフレーズには伊藤はるみさんの作品が最優秀賞に選ばれました。

■イメージアップマーク

最優秀賞：三池律子さん
(富山市・20歳)

優秀賞：居島外美治さん
(福岡町・39歳)

■キャッチフレーズ

最優秀賞：伊藤はるみさん
(三重県津市・26歳)

優秀賞：角崎ヒロ子さん
(富山市・60歳)

審査委員会では、「力作ぞろいで審査は難航しました。だれが見ても分かりやすく、親しみの持てる作品を審査規準にして選ばせていただきました。特にマークは甲乙つけがたい作品があった。最後まで決めかねがたいくらい。応募されたかたに深く感謝します」と話してくれました。

案内

自慢の作品が勢ぞろい

第16回町展が10月5日から5日間、町民会館で開かれました。日本画など5部門に合わせ、144点が出品され、このうち37点が町展大賞などに入賞しました。入賞者は次のとおり(敬称略)。◎町展大賞 ●町長賞 ○議長賞 △奨励賞

◆洋画：●紺田勇松(八幡) ○寺林茂盛(入膳) △上田健一(入膳) 大菅邦雄・佐藤広隆(上野)

◆日本画：◎池田実(桐山) ●竹内怜子(入膳) ○能島京子(上野) △上田真佐子(入膳)・大浦清(君島)・高沢夕起子(青木)

◆書：◎宮本香奈子(青木) ●江畑茂子(入膳) ○野村由香利(入膳) △柏原民子・浜松寿美・松原真理子・米山登美子(入膳)・室フミ子(君島)・中林正子・西川みゆ(青木)・杉沢美和子(目川)・野田佳子(桐山)

◆写真：◎宮島行雄(下飯野新) ●中野健一郎(入膳) ○田中忠一(入膳) △柴田昇宣・中田篤志(入膳)・藤田政也(新屋)・小森裕(舟見)

◆工芸：◎羽黒茂盛(舟見) ●塚田敏信(下飯野新) ○菅野美枝子(入膳) △上野幸子(入膳)・中島義明・宮島行雄(下飯野新)・林直子(桐山)

お知らせ

●けとけとする……落ち着きなく振る舞う様。どんな時でも泰然自若としていたいものです。"鶏頭、となるも"牛後、となるなかれの謬もある。

善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします

(敬称略)

入善町善意銀行

9月11日～10月8日分まで

◆社会福祉事業資金へ

古黒部	広川哲義	100,000 ^円	亡母はついの 供養として
下山	稲村栄勝	100,000	亡父栄吉の 供養として
上野	高田石油	703	小銭をためて

◆舟見寿楽苑へ

入膳	金沢美喜子	50,000 ^円	亡母上田ふさ の供養として
----	-------	---------------------	------------------

◆入善町身体障害者協会へ

小杉	杉田恒夫	50,000 ^円	亡父新作の 供養として
----	------	---------------------	----------------

◆物品の部

入善地区婦人会	タオル他 240点	入善地区社協 敬老会招待者へ
サンエツ運輸(株) 代表 安原まき子	使用済切手 839枚	
入善中学校 生徒会	使用済切手 13,600枚	
飯野小 児童会	使用済切手 5,136枚	
生涯学習課	使用済切手 1,163枚	
入膳 田中孝雄	使用済切手 2,000枚	

♡キャッチフレーズ

水キラキラ 町いきいき 入善



■伊藤はるみさん

(三重県津市・主婦)

三重県鈴鹿市発行の「クイズ専科」という雑誌を読んで応募しました。大切な水を通して入善町が、いきいきと21世紀へ伸びていく姿をイメージして作ったものです。

町のPRに

役立てます

最優秀賞に決まったイメージアップマークとキャッチフレーズは、これから町をPRするた
め大いに役立てていきます。
「イメージアップを図る会」
では次のような計画を立ててい
ます。

■観光パンフレット……来年1
月に完成予定で、1万部を印刷
表紙にはマークとキャッチフレ
ーズを入れてPRします。
■施設の誘導標識……沢スギや
じょうべのま遺跡などの名所を

PRするため、道路沿いにマ
ーク入りの標識を設置します。
■特産物……入善ジャンボ西瓜
や藤原イチゴなどの特産物にマ
ーク入りのステッカーを貼り付
けます。
■封筒……役場の封筒などにも
マークとキャッチフレーズを入
れ、県内外にPRしていきます。

このほかにも、「マークやキャ
ッチフレーズをこのように利用
してみれば」というアイデアが
あれば、役場商工水産課内「入
善町のイメージアップを図る会」
☎72-1100内線321へ連
絡してください。みなさんのす
ばらしいアイデア待ってます。

お知らせ

スポーツの秋です

富山県スポーツ奨励賞

昭和63年度富山県スポーツ奨
励賞を受賞したみなさんです。こ
れからも各種目の普及と技術向
上に頑張ってください。(敬称略)

- ▼竹田敏範(宝泉元・佐伯公司)入善柔道スポ少、神子沢喜彦(町ウオーキングベースボール協会)、松島巖(青木体協)、田中勉志(町バスケット協)、前田敏正(上原体協)、笹原健次(青木体協)、林原久雄・小路正三(小摺戸体協)、白又正司(新屋体協)、朴木葉子(桐山体協)、亀田誠(横山体協)、田伏春雄(舟見体協)、稲村明夫(野中体協)、藤井祐二(町卓球協会)、長谷川勝一(町陸上競技協会)、藤田政也・水野文孝(町スキー協会)、西尾厚子(舟見ママさんバレー)、宝田一枝(ミセス健康体操ク)、若島房美(町体育指導員)、金森清作(野中ゲートボールク)、中山与助・愛場栄松(入善ゲートボール協会)、桐沢新作・浜田与助(町ゲートボール協会)、嶋田久之(町ウオーキングベール協会)

年利4.7%の融資です

町では今年も冬季融資を次のとおり行います。
▼受付期間：12月15日まで
▼窓口：北銀、富山相互、新川信金の各入善支店、商工会および町商工水産課
▼融資限度額：1事業
者200万円
▼利率：年利4.7%

●どっけしかたり……無駄口をすること又は語る人のこと。越中富山の薬売り。「毒消し」を売る時、世間話をして、各地の情報を交換したのだろう。薬売りは、情報配達人だった。

私たちの広場

「今年の冬は道具だけ…」

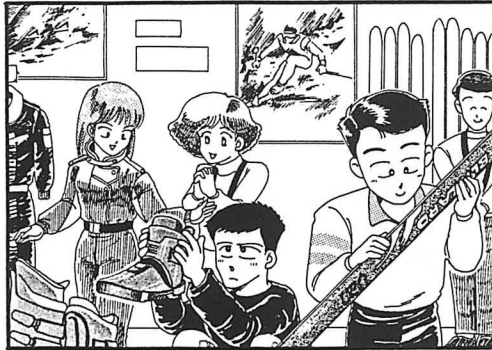


イラスト
泉 裕子さん
(新上野・22歳)

ご意見などを
お寄せください

この広場は——

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えています。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

「米寿の年にこのような立派な賞をいただくことができ、とても光栄です。」
いきいきとやま第1回健康と長寿の祭典が10月8日、県民会館で開かれました。この席上で県内から10人のかたが「いきいき長寿者」として表彰を受けられました。その中の1人が稲村さんで、下新川郡からは唯一の受賞者。



稲村 政吉さん
(中沢・88歳)

長寿の祭典で表彰



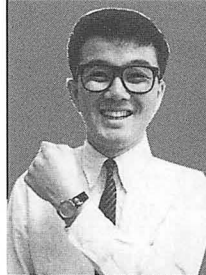
▲表彰式でもらったメダル。「とても気に入りました」と話す稲村さん。

「とりたてて変わったことはいないの少し気恥ずかしいですね。福寿会の役員をしたり、ゲートボールやウォークベースボールの指導をしたりしているのが評価されたのでしょうか」と首をかしげます。
ゲートボールを始めたのが昭和54年。町のゲートボール協会の設立に努める一方、県公認審判員の資格を取得し、地区の人たちの指導にあたったことが高く評価されて、昨年は富山県スポーツ奨励賞も受賞しています。
「健康の秘訣ですか？ 好き嫌いをせず体を動かすことでしょ。今でもご飯を茶わんに2杯食べています。毎日自転車に乗って足腰を鍛えていることも体にいいのではないのでしょうか。」
「今までの人生の中で一番印象深いのが戦争。戦友を随分失いましたから。その分自分が長生きしなければと思っているんですよ」と淡々と話します。
日焼けした健康そうな顔がとって印象に残る稲村さんです。

12月12日(月)入善町に
新設オープンいたします。

富山銀行
入善支店
☎74-6303(代)

勤労者センター
ここです
坂本病院
役場



メガネのことなら
おまかせください

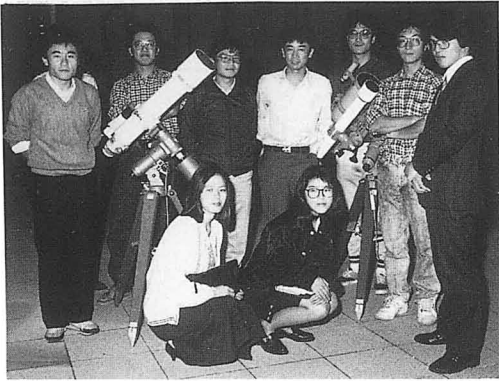
メガネ・宝飾・時計・補聴器

ビジョンアナライザーの店
メガネのなかしま

入善町西町 TEL 72-2311

メガネ光学士・中島直樹

☼はまる……お金を使って人にご馳走すること。飲みに行つて「はまって、もらうのは、うれしいが只より高いものも無い。うまい酒、飲むまいか。」



▲「夜空も自然の一つ。大切にしていきたい」と観測に熱が入るみなさん。

グループ登場 夜空にロマンを求め

入善星の会

「星を見ていると、夢とロマンがかきたてられて、とてもいい気分になります」と話すみなさん。

入善高校物理部のOBが主体となって昨年の11月に「入善星の会」を結成。町民会館のギャラリーで天文写真展を開いたのがきっかけになったそうです。現在の会員は17名。20代の男性が中心になっていてとってものにぎやかな雰囲気です。

「先輩に勧められて入会しました。小さいころから星を見るのが好きだったので」「だいたい星座の名前を覚ええました。写真の撮り方も教えてもらって楽しんでいきます」と口々に話すみなさん。町民会館2階和室で第1、第3月曜日に集まって情報交換し合うのが主な活動。県外へ合宿に行ったり、お互いの写真を批評しあったりと天文の話になると時間のたつのも忘れて話し合うこともしばしば。夏休みに小学生向けの「星座教室」も何回か開き好評だったようです。

「息の長い活動を続けていきたいと思っています。来年の3月にも写真展を開く予定にしています。ぜひ見に来てください」と話す代表の竹内律人さん。3年後にハワイで皆既日食を見るのがみなさんの夢とか。天文に興味のある人は柏原正典さん ☎72-3644へ連絡してください。



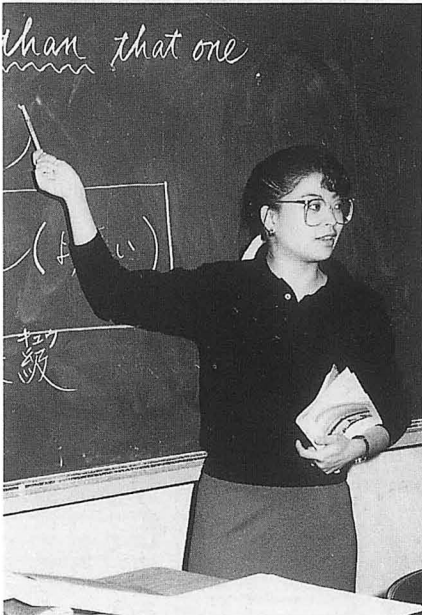
グレース・E・ミヤンタ

カナダ出身の 英語の先生

「もっと上手に日本語を話せるようになりたいですね」と目を輝かせるグレースさん。

本場の英語を中学生や高校生の授業に取り入れ、国際化を進めようと文部省が企画している「外国青年招致事業」。グレースさんもこの事業の一員として、9月から入善高校と西中学校の生徒に英語を教えています。

「カナダのトロント市出身で、おじいちゃんが日本人。小さいころから日本に興味がありました。故郷を離れて外国で生活してみることが将来とても貴重な経験になると思って応募したんです」とこやかに話します。



▲「英語に興味を持ってもらうように努力しています」と話すグレースさん。

「日本人はとっても勤勉だと聞いていましたが、授業のときはとても静かで発言が少ないんですね。最初のころはすごくとまどいました。与えられたものは上手にやるのですが、自分から積極的に意見を述べる生徒は少ないようです。もっと独自性を出してほしいのですが……」。

「生の英語が聞けてヒアリングに自信がきました」とか「カナダの生活や習慣などをよく知りたいですね」と生徒たちのグレース評も高いようです。

「来年の7月まで入善にいますので、町で見かけたら気軽に声をかけてください」と笑いながら話してくれました。

一人と川、心のふれあい

11月12日(日)→13日(月)

会場：黒部川河口

第二回 入善町 川まつり

★躍進の韓国

富山発着

- 11/11(金)～14(月) ソウル4日間
- 12/3(土)～5(月) 濟州島3日間

★スキーツアー発売中!! お早めにお問い合わせ下さい。

日曜・祝日も営業致します。



TEL 74-0151(代)

今月の さわやかさん

No.59



吉島明美さん 富山県経済農業協同組合連合会勤務 (道市・21歳)

短大を卒業して経済連に勤務、今年で社会人2年目になりました。4月から米穀課という所で仕事をしています。県内各地の農協やメーカー、県庁からの電話の問合せが多く、農業に関してもっと幅広い知識を身につけることが必要だと思っています。

11月に東京で全国農林水産展が開かれます。私も富山のコシヒカリや特産物をPRするため出張することになりました。ハッピーを着て富山県を大いに売り込みたいですね。

今年からテニスを始めました。太閤山ランドや富山空港のテニスコートにも足を運んでいます。早く上手になりたいんですが……。スキーもしたいし、お茶も習いたいし、チャレンジしてみたいことがたくさんあります。仕事と両立させていきたいですね。

男らしくて頼りがいのある人が理想の男性。寛大な心を持った人なら最高です。

♥紹介者・上田京子さん(上田)

▼先日、東京出張の際に坂下門で記帳をしてきましたが、中学生や高校生もたくさん来ていて少し面くらいました。居酒屋でも天皇陛下の話題が多いとか。日ごろはあまり意識していない皇室のことを考える機会になったことは事実。憲法では「天皇は日本国民の象徴」と書いてありますが……。

山の幸、海の幸、そして野の幸が、豊かに出回る11月となりました。「天高く馬肥ゆる秋」もいよいよ本番です。店頭にも入善ならでは、みずみずしい大根や白菜、銀鱈が波うつ鮭などが並び、一段と食欲をそそられますね。



さて、昨今は、一億総グルメと喧伝され、テレビの料理番組がもてはやされています。このグルメブームを反映してか、おもしろい(?)仕立てられた本も続々出版されています。食通として定評のある伊丹十

物は生命を支える源として大切に扱っていたころの、素朴で郷土色あふれる料理が紹介されており、今は忘れがちな自然への謙虚な心を思い起こさせます。



三は「フランス料理を私と」、エッセイストの嵐山光三郎は「素人庖丁記」、芥川賞作家の尾辻克彦は「少年とグルメ」、そして中島梓は「くたばれグルメ」などを著し、枚挙にいとまがありません。

あなたと図書館 食生活とグルメブーム

72-1100 内線621 休館日は火曜・月 末 祝日の翌日

一方、古来から伝えられてきた日本の食文化を見直そうと、「日本の食生活全集」(47巻)や「手づくり日本食シリーズ」が、農村漁村文化協会から刊行されています。これらの本は、食べ

忙しいにかまけて、ついつい手抜き料理を並べがちの私たちです。ここら辺り、本来の食事の意味を問い直してみるのが良いのではないのでしょうか。一読をお勧めします。ほかにも次のような名随筆がありますので、どうぞご利用ください。

今月の人口	
人口	30,115(+27)
男	14,417(+14)
女	15,698(+13)
世帯数	7,780(±0)
()内は前月比	
9月末日現在住民登録	

編集室

▼お祭り。みなさんが好きな言葉の一つだと思います。笛や太鼓、花火などを連想されて思わず体がワクワクしてくる人も多いのではないのでしょうか。

▼ソウルオリンピックの開催中、天皇陛下のご容態が悪くなり、開催予定のお祭りやイベントが相次いで中止になりました。町内でも獅子舞をとり止めようとする地区があったとか。昭和30年代生まれの私としては、何か狐に包まれたような気持ちになりましたが、みなさんはいかがですか。